

令和6年度（2024年度）

# 要覧





# 「新たな教師の学び」を全力支援

所長 獅子堂 秀雄

国の教育振興基本計画を受け、県の教育施策の基本的な方針、目標等を示した「滋賀の教育大綱（第4期滋賀県教育振興基本計画）」が令和5年12月に策定されました。「未来を拓く心豊かでたくましい人づくり」を基本目標としたこの計画に基づき、令和6年度（2024年度）から令和10年度（2028年度）までの5年間、本県の教育が進められます。

大綱では、VUCA（変動性、不確実性、複雑性、あいまい性）の時代には、「自ら未来を切り拓いていく力が一層重要になる」とし、そのために、「子どもたち一人ひとりを社会を構成する主体として捉え、学習者を主体に置いた、一人ひとりの学びの最適化などに取り組むことで、多様な人々との協働の中で主体的に答えを見出しながら、時代の変化にたくましく向き合い、持続可能な社会づくりに参画する人づくりを図っていくことが重要」とされています。

そして、「学校教育を取り巻く課題が多様化、複雑化する中で、子どもたちの個々の状況に応じて一人ひとりの可能性を最大限に引き出すためには、教職員が組織的・協働的に諸課題の解決を図る力の向上が欠かせません。強い意欲と情熱をもった人材の採用とともに、OJTおよび滋賀県教員のキャリアステージにおける資質の向上に関する指標等に基づく研修の充実により、社会の激しい変化に前向きに対応でき、学び続ける教職員の育成が重要」とされているところです。

子どもたちが主体的に学習を調整することができるよう促したり、協働的な学びをさらに進めていったりするためには、教職員の新たな学びも必要です。当センターにおいては、今年度、「新たな教職員の学び」として、「教職員の個別最適な学び、協働的な学びを通じた『主体的・対話的で深い学び』の実現」、「教職生活を通じた学びにおける『理論と実践の往還』の実現」を目指した取組を行ってまいります。

具体的には、独立行政法人教職員支援機構と連携して探究型の新たな研修を開発し、当センターでの研修で実践していきます。そして、教職員の研修観

の転換を図り、子どもたちが主体となる授業づくりを目指すとともに、個々のニーズに対応した教職員研修のさらなる充実を図ってまいります。

当センターでの研修に加え、「プロジェクト研究」、「学校派遣研究」、「課題研究」なども活用して新しい研修観の普及を図ることにより、各学校における校内研修や授業改善等につなげていただきたいと思います。

さて、高等学校における新学習指導要領が令和4年度から年次進行で実施され、今年度が完成年度になります。滋賀県では1人1台端末の購入も令和4年度入学生からスタートしていますので、それを活用した授業が3年生まで行われることとなります。

そういった状況のなか、教育分野においてもDX（デジタルトランスフォーメーション）が進行しており、学習者一人ひとりの状況に応じた学びが可能となってきています。国では、教育データの利活用に関する議論が進められています。当センターが連携している滋賀大学教職大学院においても、教育データサイエンスに関する研究を進めておられます。こうしたことを踏まえ、当センターの研修・研究等を通して、ICTを活用した授業改善の方法や、教育データの利活用についての事例をお伝えできればと考えています。

研修事業においては、それぞれの研修と資質の向上に関する指標との関係を明示しています。研修内容は、オンライン・オンデマンドと集合研修を、講義や演習などの内容に応じて組み合わせることで、最大の効果を上げるよう工夫しています。

今年度は、現場のニーズに応え、「子どもが主体となる授業づくり研修」、「ICTを活用した授業改善研修」など、9つの新規研修を立ち上げました。

また、研究事業においては、研究協力校の御協力を得ながら先進的・先導的な研究に取り組み、研究論文にまとめ、教育実践モデルとして普及できるよう努めております。

ぜひ、当センターの研修・研究を有意義に活用していただき、今までの経験の振り返りや新しい気付き、課題解決につなげていただきたいと思います。

## 歴代所長

### 滋賀県教育研究所

### 滋賀県総合教育センター

初代	西村栄次郎	昭28. 4～
2代	溝口 成蔵	昭31. 1～
3代	大谷 勇	昭31. 4～
4代	野崎欣一郎	昭31. 10～
5代	細谷雄次郎	昭32. 4～
6代	梅原與惣次	昭33. 4～
7代	仁志出 基	昭35. 4～
8代	岩崎 武	昭39. 4～
9代	小島市太郎	昭40. 4～
10代	中井 重雄	昭42. 4～
11代	珠久 鶴一	昭44. 4～
12代	国松佐三郎	昭45. 4～

初代	仁志出 基	昭46. 4～
2代	藤村 清一	昭51. 4～
3代	西村 忠	昭54. 4～
4代	松山 義夫	昭55. 9～
5代	吉村 博雄	昭56. 4～
6代	古川 康男	昭58. 4～
7代	三浦 昭	昭61. 4～
8代	大塚 陽一	昭63. 4～
9代	野村 弘	平 3. 4～
10代	北川 一幸	平 5. 4～
11代	山本 富夫	平 7. 4～
12代	文室 温晴	平 8. 4～
13代	岩本 光恵	平10. 4～
14代	田附 紀夫	平12. 4～
15代	三田 俊雄	平13. 4～

16代	國弘 正義	平14. 4～
17代	橋本源之助	平15. 4～
18代	中川 法夫	平17. 4～
19代	馬場 輝代	平18. 4～
20代	奥村敬一郎	平20. 4～
21代	中野 正堂	平21. 4～
22代	北村 清之	平22. 4～
23代	松村 良樹	平24. 4～
24代	小林 庄司	平26. 4～
25代	山仲 幸	平27. 4～
26代	佐敷恵威子	平28. 4～
27代	小倉 啓嗣	平30. 4～
28代	猪田 章嗣	令 2. 4～
29代	近藤 敏夫	令 4. 4～
30代	獅子堂秀雄	令 6. 4～

滋賀県総合教育センター  
イメージキャラクター



# 基本理念

## 取組の重点

子どもたちの「生きる力」を育むために、とりわけ今学校に求められていることは、子どもの学ぶ力を高め確かな学力を育成するための授業づくりです。また、学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」の視点を重視した授業、ICTを活用した授業等、これからの学校教育を担う教職員の資質向上を一層図ることも求められています。滋賀県総合教育センターでは、喫緊の教育課題や学校現場のニーズに応じた研修事業や学校等支援事業を展開し、教職員の実践的指導力や専門性の向上を支援します。また、先進的・先導的な研究事業を推進し、研究成果の普及に努めます。

## 行動目標

- (1) 教職員のキャリアステージや現場のニーズを反映した「**研修事業**」
- (2) 子どもの学びの質を高める「**研究事業**」
- (3) 学校等のニーズに応じた質の高い「**学校等研修支援事業**」
- (4) 個に応じた対応と適切な支援のための「**特別支援教育相談事業**」



## 理念図

令和6年度 滋賀県総合教育センター 理念図

子どもの夢と生きる力を育むための  
「**新たな教職員の学び**」を**全力支援**



### 研修

教職員のキャリアステージや多様な専門性に合わせた研修



### 研究

子どもの学びの質を高める研究  
・プロジェクト研究  
・学校派遣研究  
・課題研究



### 学校等研修支援

教職員の多様な専門性に合わせた校内研修支援



### 特別支援教育相談

子どもの多様化に応じた適切な支援のための教育相談

## 新たな教職員の学び

- 教職員の個別最適な学び、協働的な学びを通じた「主体的・対話的で深い学び」の実現
- 教職生活を通じた学びにおける「理論と実践の往還」の実現

### 「新たな教職員の学び」に向けた取組

- 研修 教職員の学びの振り返りを支援する研修受講履歴記録システムの運用
- 研修 振り返りシートの改善による学びの成果の可視化と確認
- 研修 働き方改革を推進する効果的・効率的なオンライン研修体制の充実
- 研修 キャリアステージごとに求められる資質・能力に応じた研修体系の構築
- 研修 指定研修の合理化・効率化に向けた研修内容の質の向上
- 研修 教職員自身の個別最適な学びのための希望研修の充実
- 研究 喫緊の教育課題に応じた研究による学校改善の支援
- 研究 教育データの利活用の促進に向けた滋賀大学との連携強化
- 研修支援 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善のための校内研修支援
- 教育相談 特別な配慮や支援を必要とする子どもへの適切な指導および必要な支援

### 教職員のキャリアステージに求められる資質・能力

#### 管理職

- ・学校教育の原動力
- ・学校経営の推進力
- ・関係機関との連携力

#### 養護教諭・栄養教諭

- ・専門領域における指導力
- ・生徒指導力
- ・組織対応力
- ・特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応力
- ・ICTおよび情報活用能力

#### 教諭

- ・学習指導力
- ・生徒指導力
- ・組織対応力
- ・特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応力
- ・ICTおよび情報活用能力

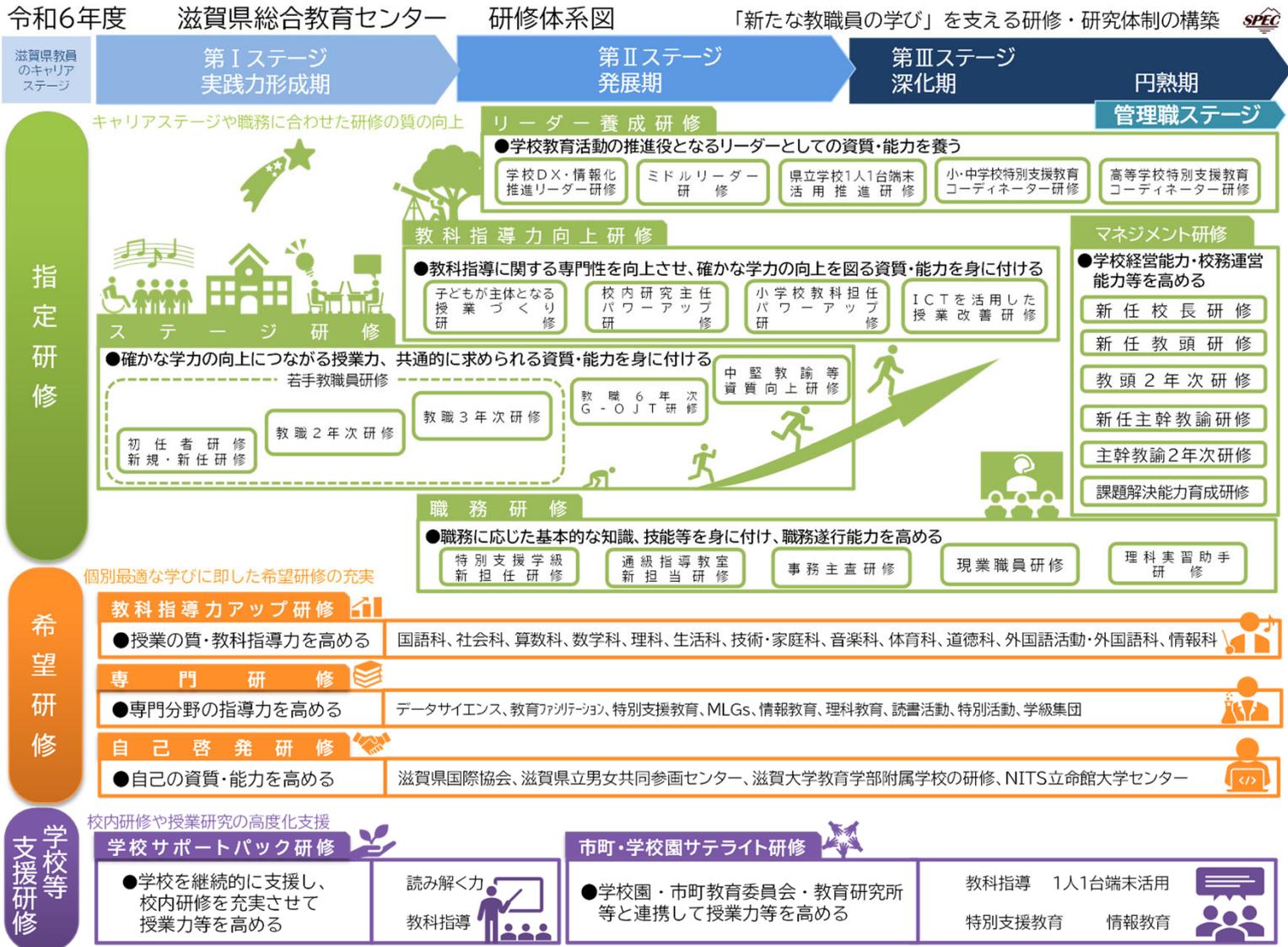
#### 事務職員

- ・調整力
- ・企画力
- ・組織力
- ・実務能力

# 主要事業



## 教職員のキャリアステージや現場のニーズに応じた研修



指定研修

希望研修

学校等支援研修

### 指定研修

協議や演習を活用し、系統性のある研修を行います。

### 希望研修

個々のニーズに応じて、専門性を高めます。

### 学校等支援研修

学校や市町教育委員会等と連携して、研修を行います。

子どもの確かな学力の育成のために、自律的に学び続ける滋賀の教職員の皆さんを支援します。研修では、実践的指導力や個々のキャリアに応じた資質・能力の向上を目指します。





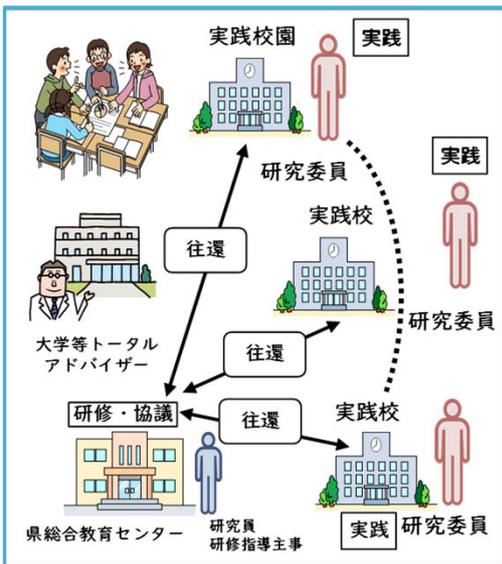
# 子どもの学びの質を高める研究



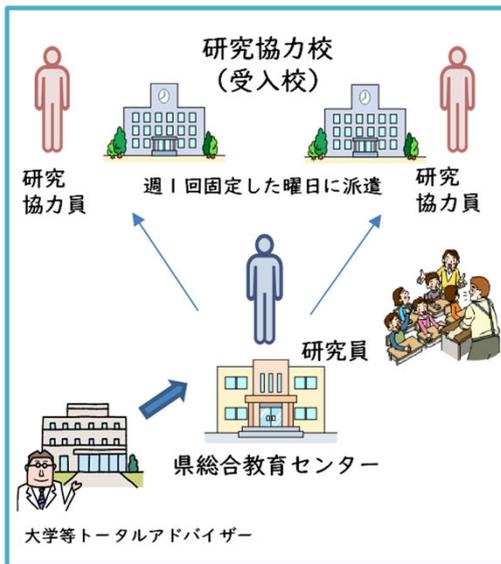
国の動向、県の課題を見すえた「研究」事業を推進することで、先進的・先導的研究を直接学校現場へ普及し、学校改善を支援します。



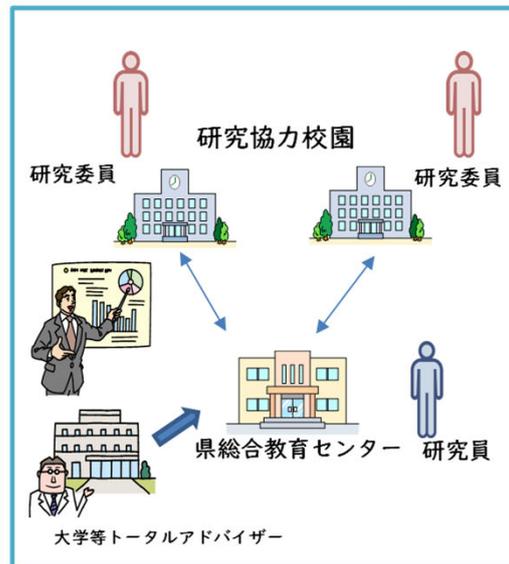
## プロジェクト研究



## 学校派遣研究



## 課題研究



### 学校に寄り添う研究

実践的な指導力の向上につながる指定校研究や喫緊の教育課題に応じた研究で、学校改善を支援します。

センター研究成果情報

最新情報です！ぜひご利用ください！

研究紀要・報告書

研究成果物

センターHPで令和5年度までの研究成果を御覧いただけます。

#### プロジェクト研究

研修と実践の往還による実践力の向上を目指す指導改善研究を実施

#### 学校派遣研究

研究員が毎週1日受入校で勤務し、学校の課題に応じた学校改善研究を実施

#### 課題研究

喫緊の課題に対応した先進的・先導的な教科・領域研究を実施

### プロジェクト研究

小学校特別活動に関する研究	「なりたい自分に向けてがんばる力」を育てる小学校の特別活動 一 学級活動における個々の意思決定とそれに基づく実践の充実を通して一
小・中学校校内研究活性化に関する研究	「新たな教師の学びの姿」の実現に向かう小・中学校における校内研究のあり方Ⅱ 一 児童生徒の学びの姿を見取ることに重点を置いた教職員の探究的な学びを通して一
小学校不登校に関する研究	児童が安心して成長できるSSRのあり方 一 「人とのつながり」「安心できる環境づくり」「周囲の理解」を軸にしたSSRの充実に向けた取組を通して一
高等学校理科に関する研究	生徒が主体的に学習に取り組むことができる高等学校理科の授業改善 一 探究の過程を踏まえた授業のデザインをしやすくする手立てを通して一

### 学校派遣研究

読み解く力・小学校国語科に関する研究	児童が主体となる小学校国語科の授業づくり 一 児童が自ら進んで言葉による見方・考え方を働かせ、学びを実感できる授業を通して一
読み解く力・小学校算数科に関する研究	児童一人ひとりが自分の考えを数学的に表現する力の育成 一 1人1台端末を用いた学びの蓄積と活用を通して一
中学校特別支援教育に関する研究	中学校特別支援学級の生徒の「共に学ぶ交流及び共同学習」の充実 一 生徒が持てる力を発揮するための自立活動を通して一

### 課題研究

情報教育に関する研究 中学校	デジタル・シティズンシップの育成を目指す中学校における取組のあり方 一 デジタル技術の活用に焦点を当てた各教科等の連携を通して一
外国語科教育に関する研究 小学校	小学校外国語科における主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成 一 児童の伝えたい思いを引き出し、毎時間やり取りを行うことをを通して一
数学科教育に関する研究 高等学校	数学的に考える資質・能力の育成に向けた、問題発見・解決の過程を遂行する高等学校数学科の授業改善 一 数学的活動を充実させる指導の工夫を通して一



# 学校等研修支援

## 学校等のニーズに応じた研修支援

### ○目的

市町教育委員会・教育研究所、学校園が行う教員研修および授業研究会において、県総合教育センターが連携して研修を実施し、実践と研修の一体化を図ることによって子どもの学ぶ力の向上につなげる。

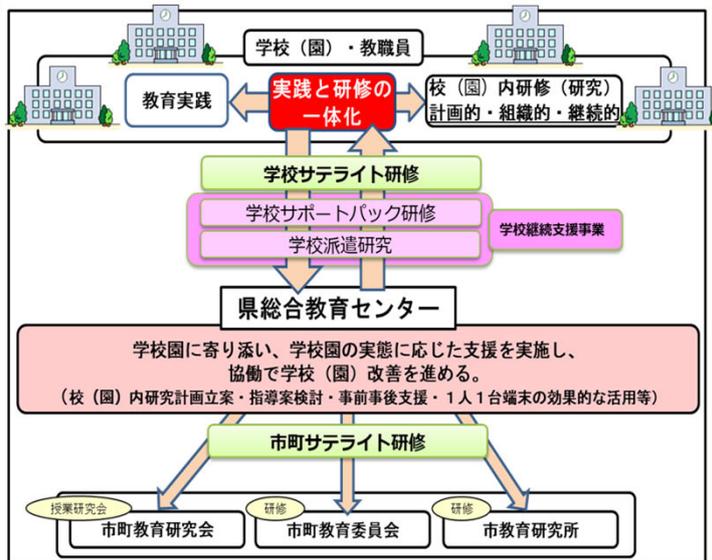
### サテライト研修

#### ○学校園サテライト研修

- ・学校園からのニーズに応じてセンター所員が出向き、学校（園）支援を行う。
- ・学校園の実態に応じた実践的な研修を行うことにより、具体的な学校（園）改善の方向性を示すことができる。

#### ○市町サテライト研修

- ・市町教育委員会等に、センター所員が出向き、センターで作成した研修パッケージを活用することで、センター研修と同様の研修効果が期待できる。
- ・学校現場により近い場所でセンター研修と同様の研修を受講できる。
- ・センター研修と市町教育委員会等で実施している研修との重複を解消できる。



### 学校継続支援事業

#### ○学校サポートバック研修

- ・学校での授業研究会等に複数回センター所員が出向き、学校を丸ごと支援する。
- ・一貫した学校支援を行うことにより、共通した授業改善の方向性を共有できる。
- ・実践に基づいた研修を行うことにより、教科指導力の向上を図ることができる。
- ・小学校では、国語科・算数科、中学校では、「読み解く力」に関する校内研究を対象とする。

#### ○学校派遣研究

- ・センター研究員が、派遣先に出向き、授業支援等を通して当センターの研究成果を広く提供・提案することで、子どもの学ぶ力や教員の教科指導力の向上に資するとともに、受入校の課題に応じた学校改善研究を行う。
- ・受入校において、原則4月下旬から11月下旬までの課業期間、各校に毎週1回（固定日）勤務する。
- ・学校派遣研究の教科は、小学校では、「読み解く力」国語科・算数科、中学校では、特別支援教育を対象とする。

## サテライト研修

目的	学校園・市町教育委員会・教育研究所・教育研究会が行う教員研修および授業研究会において、県総合教育センター所員が出向き、連携して研修を実施し、研修と実践の一体化を図ることによって、子どもの学ぶ力の確実な定着につなげる。
対象	県内の公立幼稚園・認定こども園、小学校・中学校・県立学校の教職員
開講研修	40研修・19研究（「令和6年度サテライト研修一覧表」による）
申込単位	学校園・市町教育委員会・教育センター・教育研究所・教育研究会
実施期間	令和6年4月8日（月）～ 令和7年3月13日（木）
実施時間	平日の勤務時間内

サテライト研修の申込は、「学ぶ力向上係」担当者まで直接電話で申し込みいただき、申込み内容の確認をし、日程調整等を行います。

受付期間は、前期（4月～9月）実施分は、4月3日（水）から

後期（10月～3月）実施分は、9月2日（月）から

※夏季休業中には、お受けできない研修もあります。

**県総合教育センター学ぶ力向上係 077-588-2313**

# 特別支援教育相談

## 個に応じた対応と適切な支援のための教育相談

幼児・児童・生徒の発達や行動、学習、集団生活への適応などに関する相談に、専門の相談員が具体的な支援内容等を一緒に考えます。

また、特別支援学級の担任や通級による指導の担当者等の授業づくりや個別ケースの指導・支援に関する相談に応じます。

- 連絡先…TEL 077-588-2505（教育相談専用）
- 対象…本人（幼児・児童・生徒）、保護者、教職員等
- 方法…来所による相談、電話による相談
- 相談日…月～金曜日（祝日、年末年始等を除く）
- 相談時間… 9：00～12：30、13：30～16：30



### 教育学習情報の発信

当センターホームページでは、日々の教育活動に役立つさまざまな情報を発信しています。



過去の研究成果情報はこちらです

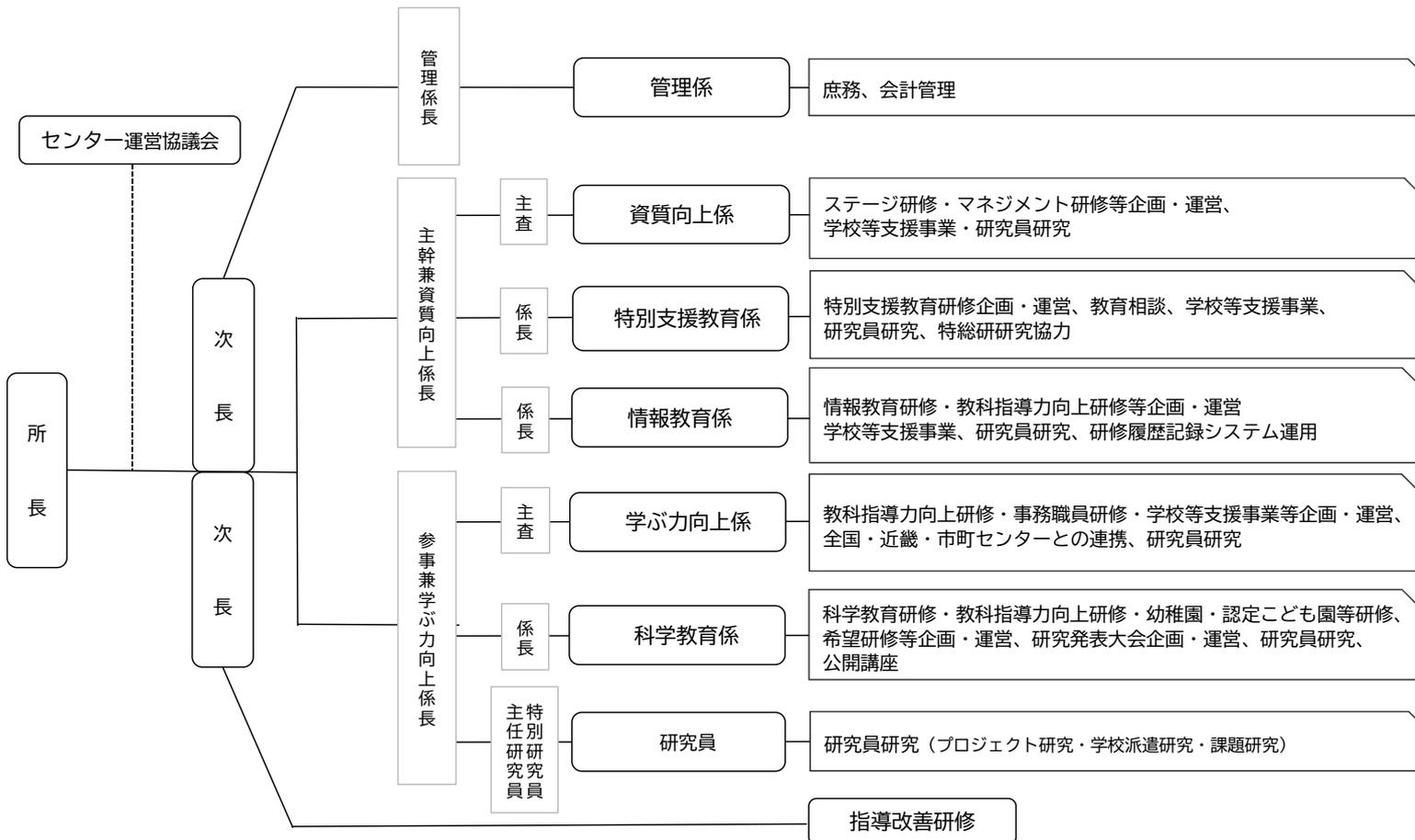
滋賀県総合教育センター

検索

- <おすすめ情報>
- 研究論文・研究成果物
  - しが学校教育DXポータル
  - ガッテン!!プリント
  - しが「読み解く力」研修
  - 学びの基礎チャレンジ
  - 子どもの「学びの場」



### 組織図



# 沿革

## 昭和

- 28. 3 滋賀県教育研究所設置規定制定
- 28. 4 滋賀県教育研究所設置(大津市東浦 県庁南別館滋賀県教委事務局内)
- 31. 4 近畿地区教育研究所連盟に加入
- 32. 4 滋賀県学校以外の教育機関の設置に関する条例制定
- 32. 4 全国教育研究所連盟に加入
- 33. 9 滋賀県教育研究所基本規則制定
- 36. 11 都道府県五大市教育研究所長協議会結成加入  
滋賀会館に移転
- 38. 3 県庁南別館に移転
- 39. 6 大津県事務所内に移転
- 39. 3 滋賀県教育研究所の設置に関する条例制定
- 40. 4 滋賀県教育研究所基本規則改正
- 41. 1 県庁新別館に移転
- 41. 4 教育特別研修生制度制定、研究員として滋賀大(教)専攻科に1年間派遣
- 42. 3 滋賀県教育研究所基本規則改正(次長制、研究調査、教科研究係設置)
- 45. 10 第1期工事(情報処理棟)着工(野洲町大字北桜)
- 46. 3 滋賀県教育研究所廃止  
滋賀県総合教育センター設置および管理に関する条例制定  
滋賀県総合教育センターの管理運営に関する規則制定  
第1期工事竣工(情報処理棟)
- 46. 4 滋賀県総合教育センター設置
- 46. 7 第2期工事(本館研修棟)着工
- 46. 10 中型電子計算機システム、数値制御工作機械および関連機器設置
- 47. 3 第2期工事(本館研修棟)竣工 教育工学機器設置
- 47. 5 滋賀県総合教育センター竣工開所式
- 48. 2 フーコー振り子設置
- 48. 7 プラネタリウム設置
- 49. 3 天体望遠鏡設置
- 50. 10 第54回全国理科教育センター研究協議会並びに研究発表会(化学部会)開催
- 51. 3 昭和50年度全国産業教育センター所長協議会情報処理教育部会開催
- 54. 9 第83回全国理科教育センター研究協議会並びに研究発表会(初等理科部会)開催
- 54. 12 教育工学機器更新
- 55. 1 中型電子計算機システム更新(FACOM M-160S)
- 56. 1 総合気象観測装置等の設置、理科関係備品充実
- 56. 6 全国教育研究所連盟学校経営協議会開催
- 57. 10 自動製図機設置
- 58. 5 中型電子計算機システム更新(FACOM M-160F)
- 58. 10 昭和58年度都道府県指定都市教育研究所長協議会総会並びに研究発表大会開催

- 58. 10 第117回全国理科教育センター研究協議会総会
- 61. 6 全国産業教育センター所長協議会開催
- 61. 10 全国理科教育センター研究協議会並びに研究発表会(生物部会)開催
- 63. 6 全国教育研究所連盟事務能率化研究協議会開催
- 63. 7 新館建築工事および本館改修工事着工

## 平成

- 元. 5 新館および本館竣工式
- 2. 10 全国理科教育センター研究協議会・研究発表会開催
- 3. 3 創立20周年記念誌発行
- 7. 7 全国情報処理教育センター指導者協議会第29回滋賀大会開催
- 8. 3 教育用ソフトウェアライブラリーセンター設置
- 8. 6 全国教育研究所連盟総会・研究発表大会開催
- 9. 12 自動気象観測装置、静止衛星「ひまわり」画像受信装置、走査型電子顕微鏡設置
- 10. 10 平成10年度全国教育研究所連盟「学校不適應・教育相談、環境教育、情報教育」等研究協議会開催
- 11. 3 教育情報衛星通信ネットワーク(エル・ネット)の設置
- 12. 4 創立30周年記念所報発行
- 13. 11 全国理科教育センター研究協議会並びに研究発表大会(物理部会)開催
- 15. 7 都道府県指定都市教育センター所長協議会総会・研究協議会開催
- 16. 8 出前研究発表会(安曇川・長浜)実施
- 17. 5 カリキュラムサポート開始
- 18. 5 総合教育センター運営協議会設置
- 21. 10 都道府県指定都市教育センター所長協議会初等理科部会開催
- 22. 6 創立40周年記念所報発行
- 23. 11 第35回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会(滋賀大会)開催
- 25. 4 学校支援事業として学力向上支援派遣開始
- 27. 4 学校支援事業として学ぶ力向上支援派遣開始  
小学校派遣研究開始
- 28. 4 プロジェクト研究開始
- 29. 10 都道府県指定都市教育センター所長協議会物理部会開催
- 29. 11 近畿地区教育研究(修)所連盟発表会開催
- 30. 4 サテライト研修開始
- 31. 4 サポートバック研修開始

## 令和

- 2. 11 全国教育研究所連盟研究協議会(滋賀大会)  
滋賀県総合教育センター創立50周年記念開催
- 3. 2 創立50周年記念所報発行
- 3. 4 全館のトイレを洋式化改修
- 3. 11 創立50周年記念誌発行
- 5. 11 近畿地区教育研究(修)所連盟発表会開催

# 案内図



〒520-2321 滋賀県野洲市北桜  
 TEL 077-588-2311(代表)  
 077-588-2312(資質向上係)  
 077-588-2313(学ぶ力向上係)  
 077-588-2511(科学教育係)  
 077-588-2512(特別支援教育係)  
 077-588-2513(情報教育係)  
 FAX 077-586-0011  
 URL <https://www.shiga-ec.ed.jp/>  
 E-mail [ma30@pref.shiga.lg.jp](mailto:ma30@pref.shiga.lg.jp)  
 ◇JR「野洲駅」から5.4km  
 タクシー JR「野洲駅」から10分  
 バス JR「野洲駅」から15分  
 近江鉄道バス  
 「花緑公園行き」  
 ・総合教育センター前下車 南へ200m